

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ＆コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	百貨店（販売担当）	・年明けのクリアランスセールに来客数、売上は、共に増加が見込める。現在販売している商品は、例年に比べてシンプルなデザインが多いため、セールで安くなれば、ブランドを知らない客も購入する。
		衣料品専門店（売場担当）	・昨年は暖冬であったが、今年の冬は寒くなると予想されているため、冬物のセールが好調になる。
		乗用車販売店（経営者）	・来月は、メイン車種のフルモデルチェンジが予定されている。
		ゴルフ場（企画担当）	・これから冬場は、例年なら来場者数が減少するが、予約状況は今より良くなっている。
		住宅販売会社（従業員）	・ローン控除の終了を控えているため、延長がない限り、駆け込みが3月まで続く。
	変わらない	商店街（代表者）	・年末年始にかけては、例年どおり商品は動く。しかしその後は、燃料費等の値上がり影響してくる。
		商店街（代表者）	・購買意欲がやっと高まってきたところに、石油価格等の高騰があり、購買意欲に水が差される。
		百貨店（売場主任）	・ユーロ高で輸入製品が値上がりしても、クリスマス商戦の売行きは現状を維持する。
		百貨店（企画担当）	・今月初めのセールは予想以上に盛り上がったが、その後は元に戻っている。今後も、横ばいが続く。
		百貨店（企画担当）	・入店客の購買率は高まっており、百貨店を利用する客の購買意欲は落ちていない。寒さが本格化してきたこともあり、クリスマス商戦に向けて、婦人服の売上は従来どおり伸びる。
		スーパー（店員）	・年明け後に良くなる要素は見当たらず、現在の状態で推移する。
		スーパー（総務担当）	・ここ半年ほど、売上は前年同月比で3%ほど増加している。この傾向は今後も続く。
		コンビニ（エリア担当）	・売上が前年をクリアできない状態は、今後も継続する。
		衣料品専門店（企画担当）	・ボーナス商戦時期や年末年始の間も、衣料品への支出の抑制は続く。
		家電量販店（店員）	・季節物の動きは今一つであり、今後好転する要素は見当たらない。
		家電量販店（店員）	・テレビやDVDレコーダーの売上は伸びているが、供給量に限界がある。新型ブルーレイ・レコーダーは、高価格にもかかわらずヒットしそうであるが、早くも品不足になっており、今後も貢献しそうでない。
		乗用車販売店（従業員）	・現状を打破する好材料は見当たらず、原油高など不安材料しか見当たらない。今後も現状維持がやっとである。
		住関連専門店（店員）	・気候不順から、季節物が動き始める前にセール時期を迎えるため、今後も厳しい。
		観光型ホテル（販売担当）	・宿泊予約件数は引き続き順調であるが、単価が上がっており、一般宴会も現状維持が精一杯であるため、全般的には変わらない。
		都市型ホテル（従業員）	・予約件数の動きは、例年並みである。
旅行代理店（従業員）	・今年の年末年始は、カレンダー上は長期休暇が可能な日並びながら、海外旅行の予約件数は思ったほどではない。飛行機利用へのオイルチャージが原因と考えられる。その一方で、国内旅行の宿泊申込件数は、増加している。		
テーマパーク（職員）	・交通アクセスは良くなるが、ガソリン価格の高騰などマイナス要素もあり、全体としてはあまり変わらない。		
ゴルフ場（経営者）	・近隣の他クラブも含めて、予約状況は前年並みである。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・諸物価の上昇が続くそうなので、家電製品も買い控えが続く。	
	商店街（代表者）	・直営店、委託店を合わせても、年末年始の繁忙期に向けて、明るい材料は見当たらない。法人需要も減っており、今後も減少傾向が続く。	
	一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	・食品偽装問題の影響で、年末年始の贈答品の動きに影響が出る。	

	百貨店（企画担当）	・客の低価格志向が進む中、ユーロ高、原油高や地金価格の上昇に伴い値上げ品目が増えそうであり、売上に影響が出てくる。	
	百貨店（販売担当）	・諸物価の上昇や増税の影響が、じわじわと出てくる。	
	スーパー（店長）	・ガソリン等諸物価高騰の影響が、今後は出てくる。	
	スーパー（店長）	・原油価格の高騰に伴う食品等の一斉値上げが、今後節約実行を更に高める。	
	スーパー（営業担当）	・当面の間は、原油高騰からガソリンの高騰、商品や原材料の値上げ、定率減税廃止、増税説などにより、消費は低迷する。企業の好調な業績に比較して個人所得は減少傾向にあり、景気は停滞が続く。	
	スーパー（販売担当）	・新しい競合店がたくさん出店するため、そちらへ客が流れる。	
	スーパー（仕入担当）	・従来の特売品の価格上昇もあり、チラシによる競争はより一層厳しくなる。それに伴い、価格を据え置く商品も一部に出てくるため、その影響も出てくる。	
	コンビニ（エリア担当）	・客の購買意欲の低下に加えて、近隣への競争店の相次ぐ出店もあり、競争が激しさを増す。	
	乗用車販売店（従業員）	・燃費が劣る新車、中古車は売れないため、ガソリン高が今後も続くと、危機的な状況に陥る。	
	住関連専門店（営業担当）	・建築基準法の改正に伴う混乱は今後も続くため、この先数か月は悪くなる。	
	その他専門店〔貴金属〕（店長）	・購入意欲が低下していることに加えて、誕生日、結婚記念日のプレゼント予算も減少しているため、クリスマス等の売上も見込めない。	
	一般レストラン（スタッフ）	・原油高を背景に、諸物価高騰の不安から、来客数に影響が出てくる。	
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・原油高の影響が、今後表面化してくる。	
	観光型ホテル（経営者）	・ボーナスを含めて、地方では個人所得が伸び悩んでいるため、年明けから春先にかけて動きは弱くなる。	
	都市型ホテル（支配人）	・食材や消耗品等が軒並み値上げされるなか、販売価格への転嫁は今後もなかなか進まない。	
	テーマパーク（総務担当）	・来場者の交通利用は自家用車が一番多いため、ガソリン代の値上がり影響してくる。	
	設計事務所（職員）	・耐震偽装問題に続く、建築基準法改正に伴う混乱が今後も継続すると、倒産する建築事務所も出てくる。	
	住宅販売会社（従業員）	・中小零細企業では、建築基準法の改正に伴う混乱が続く間は、労働者や工事材料を確保するための資金繰りが悪化する。	
	悪くなる	一般小売店〔酒類〕（経営者） スーパー（経営者） コンビニ（エリア担当） コンビニ（商品開発担当） タクシー運転手 住宅販売会社（経営者）	・油関係を始め諸物価が値上がり傾向にあり、消費者の財布のひもは一段と締まっていく。 ・今後大型店がいくつか出店するため、悪くなる。 ・今後もガソリン代が高騰するなどにより、コンビニで使う金額はより少なくなる。加えて同業他社の出店も控えているため、今もかなり厳しい状況にあるが、今後は一段と厳しくなる。 ・食品価格の値上げは、今後更に本格化する。状況は一段と厳しくなる。 ・タクシー運賃の値上げが予定されているため、タクシー利用は減少する。 ・今後諸物価が高騰すると、住宅購入のためのローンに金が回らず、売行きは悪化する。
企業動向関連	良くなる やや良くなる	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者） 輸送用機械器具製造業（統括） 輸送業（経営者）	・原材料価格がかなり上昇し、現状では収益を悪くしているが、ここ数か月のうちに販売価格に転嫁できそうである。 ・主力取引先の業績が順調に回復し、当社の受注も徐々に増加する。 ・建築業界から、今後は着工件数の回復が見込まれるため、輸送力を確保して欲しいとの依頼がある。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（社員） 一般機械器具製造業（販売担当）	・積極的に設備投資する企業は、少なくない。ただし、年内の予算消化で発注している企業もあり、その反動で一部の受注は減少する。 ・カナダ、メキシコ、中国、インド、欧州から活発な引き合いが入ってきているが、主力のアメリカの自動車産業の冷え込みは続くため、良くなるほどではない。また、原油価格の高騰を背景に原材料費や運賃の値上がりが著しく、安い台湾製などとの価格競争に勝つことは非常に難しい。

	一般機械器具製造業（経理担当）	・受注動向に若干懸念はあるが、当面は順調に推移する。
	電気機械器具製造業（経営者）	・原材料価格の変動や、取引先の海外移転に伴う変化はあるが、受注は引き続き堅調である。全体としては変わらない。
	輸送業（従業員）	・燃料価格の高騰が、荷主による物流費削減にもつながってくるため、引き続き苦しい状態が続く。
	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・大型案件や特需も見当たらず、業界の低迷は続く。
やや悪くなる	食料品製造業（企画担当）	・原油高に伴う包材、原材料価格の高騰で、商品原価が高くなっているが、販売価格への転嫁は今後もできない。そのため、収益は圧迫される。
	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	・主材料や、その他の材料の値上がりにより、販売量、受注量とも前年同月比で4～6%減少する見込みである。
	化学工業（企画担当）	・原油高騰の影響が、今後は全体的に出てくる。
	化学工業（人事担当）	・企業はリストラを進めそれなりに頑張っているが、円高、原油高や株価の乱高下といった経済環境では、今後悪くなるのは避けられない。
	金属製品製造業（従業員）	・仕事が出てこない。今後もこの状況は変わりそうもない。
	電気機械器具製造業（企画担当）	・サブプライムローン問題の影響で株価が下落したり円高が進んだりして、積極的な設備投資は難しい環境になってきている。そのため、来年以降の製品売上に影響が出る可能性が高まってきている。
	電気機械器具製造業（経営者）	・毎月上昇する原油価格につられ、副資材関係も相変わらず値上げ基調にある。それらを価格転嫁せざるを得ない状況が続くため、今後は受注量、売上共に減少が見込まれる。
	建設業（経営者）	・建築基準法の改正に伴う着工数の激減により、今後も少なからず影響が出てくる。
	建設業（経営者）	・当社のような零細企業では、良くなる要素が全く見つからない。価格競争では負け、大手からの下請金額も上がらない。
	建設業（総務担当）	・原油価格の高騰に伴い、今後は関連製品が値上がりするため、厳しくなる。
	輸送業（エリア担当）	・石油価格の高騰が続き、アメリカ経済も停滞する影響で、国際貨物の動きは鈍る。
	輸送業（エリア担当）	・貨物量はそれほど大きく落ち込まないが、燃料費の高騰に伴う影響が大きく出てくる。
	金融業（企画担当）	・原油価格の高騰を背景に、原材料費、事務用品費にも影響が出てきており、間接費は上昇傾向にある。今後は企業業績にも影響してくる。
悪くなる	窯業・土石製品製造業（経営者）	・建築基準法の改正に伴う混乱で、7～9月の住宅着工件数は前年同月比で大幅に落ち込んでおり、今後数か月先の食器、タイルや衛生陶器の売行きに悪影響が生じる。
	鉄鋼業（経営者）	・年明け以降の受発注量は、更に大幅に減少する。
	金属製品製造業（経営者）	・今後も建築着工が進まないため、販売量は減少する。それに加えて、価格競争も激しくなる。
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・当社の取引先は輸出産業が多いため、円高になると海外向けの販売量が落ちてくる。
	経営コンサルタント	・建設資材等の原材料価格が値上がりしているため、建築単価も値上がりしてくる。住宅の販売量にも影響が出てくるため、特に中小事業者は苦しい状況に陥る。倒産も増えてくる。
雇用関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	変わらない	-
	人材派遣会社（経営者）	・技術者数は、相変わらず少ない。プログラマーの募集に対して、販売やコンビニのアルバイトの経験しかない人が応募する状態である。
	人材派遣会社（社員）	・自動車製造業では、求人数の増加傾向が今後も続く。ただし、求職者の確保が依然として難しい。
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・求人数、求職者数や製造業の生産動向に変化はないため、この先も当分の間変わらない。ただし、一部で受注契約が短期化している。
	職業安定所（職員）	・原材料費の高騰、人手不足は今後も続く。
やや悪くなる	求人情報誌製作会社（企画担当）	・雇用面では頭打ちが明確になっており、一部で募集を停止するなど、求人数は減少に向かう。
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・円高の影響から、輸出関連製造業の求人が頭打ちである。輸出関連製造業はこれまで有効求人倍率を押し上げていたが、今後は減少に転ずる。

	職業安定所（職員）	・原油価格の高騰の影響により、求人数は横ばいか減少傾向にある。当面この状況が続く。
悪くなる	新聞社 [ 求人広告 ] ( 営業担当 )	・求人広告の出稿量の減少は、当面続く。加えて、新しい広告主の比率が低下し、広告内容も縮小する。